

研修旅行レポート

出雲大社参り・伊勢神宮参り

平成 25 年 6 月 26 日

出雲大社 (島根県出雲市)

初日と二日目に、出雲大社に参拝に行きました。

初日は境内で参拝だけしました。

二日目は初日同様境内を一周参拝し、その後に神楽殿で会社のご祈祷していただきました。神社にあまり行かない自分には本当に貴重な体験でした。

出雲大社に行って少し興味を持ったので調べてみました。



広さ約 2 万 7000 平方メートルの境内には、国宝の本殿を中心に拝殿、摂社 8 社、末社 3 社、文庫、宝庫、彰古館などが建ち並び、現在の本殿は延享元（1744）年に建立。高さ 24m で、白木を用いた日本で一番古い神社建築様式でもある大社造りの代表建築です。

本殿西の神楽殿にある長さ 13m、周囲 9m、重さ 5t のしめ縄は日本一の大きさです。

また参道入口から進んだ場所に並ぶ見事な枝振りの松並木は、「松の馬場」とも呼ばれ、日本の名松 100 選にも指定されています。

神々の故郷・出雲。よくそう呼ばれています。それにはキチンとした理由が存在します。そのことを代表する一例が暦の呼び方。

十月は、一般的に「神無月（かんなづき）」。しかし、神々が集まるこの地域だけは「神在月（かみありづき）」と呼ばれているのです。それは、全国各地の神様が、ココ出雲に集まって会議をするから。「神が在る」出雲は神在月、「神が無い」その他の地域は「神無月」。という事です。

参拝の仕方について・・・

出雲大社では、「二礼四拍手一礼」の方式で行います。

1. まずは右手で柄杓を持ち左手を洗い、そして逆も同じように行い、最後に右手に持ちかえて、左手の手のひらに水を溜め口に含んで軽くすすぎます。
2. 賽銭を入れ 90 度の礼を 2 回。その後、4 回手をたたき、手を合わせお願い事を伝える。最後に再び 90 度の礼を 1 回すれば終了です。

伊勢神宮 (三重県伊勢市)

四日目は伊勢神宮に参拝に行きました。

天気はあいにくの雨でしたが、多くの方が訪れていました。伊勢神宮には外宮と内宮があり、多くの場合は外宮からというのが昔からのならわしです。

伊勢神宮には五十鈴川と言う川があり五十鈴川は伊勢神宮のお参りの時に禊をする川です。水がきれいで見ているだけで浄化される気がしました。

外宮と内宮を見て回った中で一番印象に残っているのは、御垣内参拝です。御垣内参拝とは伊勢神宮の御正殿を幾重にも囲む玉垣の中でも、神官により案内されて内側の玉垣の中で参拝をする事です。御垣内参拝をする際に気をつけなければならないのが服装でした。私はスーツにネクタイをしていたので大丈夫でしたが、一般のお客様はそうではない方が多いので中々出来るものではないのでとても貴重な体験ができたと思います。



今回の研修旅行は3泊4日でした。

その際に色々な物を食べました。出雲ではお昼は3日間おそばを食べました。

一日目は出雲大社からすぐのかねやで食べました。普段の外食でそばを食べにくることのないので、どんなそばが出てくるのか楽しみでした。注文した三色割子五段の中でも私は大根おろしが乗っているそばが一番好きでした。



二日目は割子そばではなく天ぷらそばを食べました。食べた後にそのお店でも割子そばを食べるべきだったと後悔しました。

三日目はふなつで食べました。かねやと違いそばが短いのが特徴でした。ぜんざいもついて値段が750円とお手軽でした。

三日間そばを食べ比べて自分の中で一番おいしかったのは一日目に食べたかねやのそばでした。

一日目と二日目の夜は宿泊場所から近い神有料理わたなべで食事をしました。そこでの食事には19歳の私にはあまりにも豪華で本当に食べてよいのか迷ってしまうほどでした。

三日目の夜は伊勢のあじっこというお店でお食事をしました。あじっこでは伊勢エビ雑炊が約800円で食べれると驚きでした。伊勢エビ雑炊は味がしっかりしていておいしかったのですが、私は伊勢エビ雑炊より牛スジ煮込みの方が好きでした。味が濃くトロットとしていてやみつきになってしまいました。

感想

今回の研修旅行はとても楽しかったです。ですが、ただ楽しいだけではなく、社会人としての心構えであったり、上司との旅行などではどのようなことに気をつければいいのかなど多くのことを学ぶとてもいい機会でした。自分はまだ若いのでこれからまだまだ社会人としてやっていかななくてはならないので、早い段階でそれらを学べて幸運だと思いました。